

第 35 回情報処理センター等担当者技術研究会の報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班

松岡 大夢

1. はじめに

国立大学、公立大学等の情報系センター等に勤務する技術職員が集まる本研究会は、大学における情報システムおよびネットワーク基盤の管理・運用に関する問題点や解決策を議論、共有することができる数少ない機会である。新しい技術を習得し、業務に取り入れ業務の効率化を図るとともに、他大学等の技術職員との繋がりを作るため、本研究会に参加した。

2. 期間・場所

期間：令和 6 年 9 月 12 日、13 日

場所：香川大学 幸町北キャンパス オリーブスクエア多目的ホール

3. 参加者等

国立大学、公立大学等の技術職員、78 名が参加した。

4. 研修内容

2 日間で現状報告 13 件、研究発表 2 件、特別講演 1 件を聴講して、各大学等の情報系センターが行っている取り組みの状況や課題、その対策方法を学んだ。また、施設見学として香川大学の情報メディアセンターの見学会が行われた。

5. まとめと感想

今回の発表では全体を通して「ネットワーク機器の更新」に関する内容が半分ほど占めていた。無線 LAN の整備について大学全体で管理していることに加え、部局や研究室単位で独自 Wi-Fi の設置を許可しているところもあれば、禁止しているところ、禁止でも研究で使いたい場合は許可制にするなど運用管理は様々であった。更新時のノウハウは今後の参考にしたい。

情報メディアセンターの見学では、まず令和 5 年 4 月に設置された「情報化推進統合拠点」の中を見せていただいたが、事務室内にオンライン会議専用のボックスがあることや利用者対応を全て学生スタッフが行っていることに驚いた。香川大学では DX を実践できる人材の育成や DX を推進しており、私自身も本学の DX 研修に参加して勉強をしているところなので、参考になる点は多くあった。

本研究会で学んだ知識を今後の業務に活かしていきたい。